

## 27年ぶり新税導入

2019年1月7日より出国時に課税される新税が導入されます。

正式名称『国際観光旅客税』 通称『出国税』

### 【出国税のしくみ】

○外国人・日本人に関わらず、日本から出国時に1人1000円の課税

○航空券、乗船券など購入時に上乗せして徴収

※ 2歳未満の子どもと、24時間以内に出国する乗り継ぎ客は除外

外国人観光客は帰国時、日本から海外に行くビジネスマンや観光客は出国時に税金を支払います。

出国税ができる背景には外国人観光客が急増していることが挙げられます。

2012年まで年間800万人前後だったのが2016年には2400万人を突破しています。

簡単に計算すれば日本人出国者と併せて出国税によって400億円の税収が見込ることになります。

税収は訪日外国人の急増に対応して、観光インフラの整備等に使用するために使われる予定になっています。